



4月  
17日

交流拠点施設オープニングイベント



**身近な題材で  
環境について  
楽しく学ぶ**  
原田 禎夫(はらだ てるお)さんを講師に、自身の清掃活動の映像などを通じてプラスチックごみなどがどこから来るのか、自然環境にどのような影響をおよぼしているのかについて講演が行われました。体験教室では水野 哲雄(みずの てつお)さんを講師に、地域の子どもたちが琵琶湖のごみなどを材料に、自分だけのオブジェを作成しました。

4月  
13日

市議会を紹介する動画を制作



**市議会紹介動画を  
制作  
市内小学校へ**  
守山市議会は、小学校ではじまる公民の授業に役立ててもらおうと、紹介動画を制作しました。動画では議員が自ら出演して、市民生活の中の市役所や市議会の役割、議員と議会の仕事などについて分かりやすく紹介しています。完成した動画を収めたDVDは、教育長を通じて市内小学校に配られ、授業の教材として使われる予定です。

4月  
22~26日

西陣美術織 伊藤 若冲展



**伊藤若冲の絵画を  
再現した西陣織  
鑑賞の市民ら感嘆**  
西陣織の匠(うぢ)の技を伝承し、その魅力を広く知ってもらうため、伝統工芸西陣織の中でもち密な技術で織り上げた西陣美術織で絵画を再現した「西陣美術織伊藤若冲展」が市民ホールで開催されました。訪れた市民らは一点一点の作品の前で足を止め、じっくりと鑑賞しながら若冲の迫力ある絵画と繊密な美術織の魅力に感嘆していました。

4月  
17日

つがやま市民教養文化講座



**ふるさとの  
歴史と風土を  
未来へ継承**  
ライズウィル都賀山で、恒例の「つがやま市民教養文化講座(全12回)」が開講しました。40周年となることから、第一回は「記念シンポジウム」が実施されました。「守山の文化を語る」と題して、地域の歴史や文化をどのようにに未来へ継承していくのかをテーマに、市長の基調講演と有識者など6人のパネリストが意見を交換しました。



守山市の人口

令和3年4月30日現在  
(前月比)

人口	84,625	(+ 59)
男	41,703	(+ 10)
女	42,922	(+ 49)
世帯数	33,629	(+ 38)



双眼鏡

私はアヤマとカキツバタの区別がつかない無粋者である。「いずれアヤマかカキツバタ」といつとわがは知っていたが「どちらもキレイ」らしいにしか思っていない。実際は「どちらも優れて優秀つけがたい」という意味であるらしい▼今の時期に野外で見るのはアヤマであるらしい。もう少し後に水辺(湿地)で咲くのがカキツバタやハナショウブだという。水に恵まれ、水を大切に守る守山。紫色の美しい花を植栽する里中の川辺も多いというのに、赤面の至りである▼水辺ではカキツバタの開花に先駆けて、もう少し細い葉先を小さな光が飛び交う風景が見られるはずだ。凜とした紫色の美しい花とホタルの光。どちらも初夏の水辺を彩る立役者「いずれアヤマかカキツバタ」である。言葉遊びと夜の散策でコロナ禍の夜を静かに楽しもう。(あ)